

シラバス改訂 2 版(2010.6.16.) 2010 年度前期:共通教育(統合教育科目) 2 単位

「4つの力」スタートアップセミナー



担当教員: 長澤 多代 (ながさわ たよ)

三重大大学 高等教育創造開発センター

時 間: 水曜 5/6 時限 (13:00~14:30)

対 象: 1 年生 (工学部・建築学科)

教 室: PBL 教室 1 (共通教育棟 1 号館 2 階 217 号室)

連絡先: nagasawa@hedc.mie-u.ac.jp もしくは ICI43543@nifty.com

TEL 059-231-5621 (内線 3770) FAX 059-231-5615 (共有)

研究室: 共通教育棟 1 号館 (共通教育事務室の 2 階一部屋番号 211)

オフィス・アワー: 火曜 12:00~13:30 (予約の必要はありません)

これ以外の時間帯については、事前に予約することが望まれます。

主な参考文献:

花見 槇子; 鹿島 恵『大学生のためのレポート作成ハンドブック』三重大学共通教育センター, 2006, 45p. [附属図書館の請求記号(以下, 同様): 002/Ka86]

加藤 秀俊『取材学: 探求の技法』中央公論社, 1975, 184p. (中公新書, 410) [002/Ka86]

三輪 眞木子『情報検索のスキル: 未知の問題をどう解くか』中央公論社, 2003, 214p. (中公新書, 1714) [007.5/Mi68]

戸田 山和久『論文の教室: レポートから卒論まで』日本放送出版協会, 2002, 297p. [816.5/To17]

パスファインダー (関連文献を探索するための道しるべ): 「建築学」「三重」など

<http://www.lib.mie-u.ac.jp/pathfinder/index.html>

TA (ティーチング・アシスタント):

**** (* ** * * ** *) 工学研究科建築専攻・修士課程 1 年
M@m.mie-u.ac.jp

**** (* ** * * ** *) 医学研究科看護学専攻・修士課程 1 年
M@m.mie-u.ac.jp

◆ 授業の目的

- ・ 主体的学習者としての自己認識、さまざまなコミュニティの構成員としての自己認識をもつ。
- ・ 感じる力、考える力、コミュニケーション力、それらの統合力としての生きる力（4つの力）の意義を理解し、実践する。
- ・ グループ活動を通して4つの力の素養を習得する。

◆ 学生の到達目標

- ・ 大学の教育目標（4つの力）の理解と、自発的な学習目標の設定
 - ・ 学習目標を実現するための学習スキル・学習方法の習得
 - ・ グループによるプロジェクトの遂行と達成
- （各回の到達目標については、毎回の授業で提示します。）

◆ 授業の方法

講義、演習（個人、ペア、グループ）、グループによる発表、レポート、教室外の学習によって進めます。

◆ 授業計画

	授業日	内容
第1回	4月14日	<p>「大学で学ぶとは」</p> <p>◇大学で学ぶとは、三重大大学の教育目標</p> <p>◇科目の概要説明（授業計画、授業の内容、課題、成績評価の方法）</p> <p>◇演習：アイスブレイキング（自己紹介）</p> <p>◇ツアー：ラーニング・コモンズ（希望者のみ）</p> <hr/> <p>キーワード：教養教育，専門教育，学習スキル，自己紹介</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 A：自己紹介を完成させる。</p> <p>◇個人課題 B：大学生活を含む日常生活の中で「なぜ？」と思ったり、もっと知りたいと思ったりしたことを記録する。</p> <p>◇読書課題：和田寿博ほか「大学での学びとは何か」『学びの一步：大学の主人公になる』新日本出版社，2003，p.14-44. [377.15/Ma43]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>

第 2 回	4 月 21 日	<p>「ノートづくりの方法」</p> <p>◇講義：高校の授業と大学の授業の違い，ノートづくりの心構え， 有用なノートをつくるために，作成したノートを読み直すポイント， マインド・マップ</p> <p>◇講義・演習：授業のスタイル別のノートの取り方</p> <hr/> <p>キーワード：ノートづくり，メモ</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 C：1 週間分の授業における授業のスタイルとノートづくりを記録・ 省察する。</p> <p>◇読書課題：学習技術研究会 編著「ノート・テイキング」『大学生からのスタ ディ・スキルズ』くろしお出版 2002，p.17-30. [377.15/F67]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 3 回	4 月 28 日	<p>「テーマを設定する方法 ①」</p> <p>◇講義：テーマのしぼり方，ブレインストーミングの方法</p> <p>◇演習：ブレインストーミングによるアイデア・マップの作成</p> <hr/> <p>キーワード：課題探求のプロセス，ブレインストーミング，マインド・マップ</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 D：アイデア・マップを作成する。</p> <p>◇読書課題：北川達生「発想力」「表現力」『フィンランド・メソッド入門』フィ ンランド・メソッド普及会，2005，p28-35，52-55. [372.386/Z6]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 4 回	5 月 12 日	<p>「テーマを設定する方法 ②」</p> <p>◇演習：ブレインストーミング</p> <p>◇演習：作成したアイデア・マップの発表</p> <hr/> <p>キーワード：課題探求のプロセス，ブレインストーミング，マインド・マップ</p> <hr/> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 E：チームで設定しているテーマに関する疑問（「なぜ」と思ったり， もっと知りたいと思ったりしたこと）を記録する。</p> <p>◇読書課題：佐藤望ほか「1-4. 問いを立てる：研究の出発点」「1-5. 研究テー マの三箇条」『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門』慶応 義塾大学出版会，2006，p.18-23. [377.15/A28]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>

第 5 回	5 月 19 日	<p>「レポートの骨組みを作成する方法」</p> <p>◇講義：レポートの構造，序論（はじめに）の構造，段落の構造</p> <p>◇演習：「はじめに」の作成と発表，「全体の構成」の作成</p> <p>キーワード：序論，本論，結論，トピック・センテンス</p> <p>教室外の課題</p> <p>◇個人課題 F：レポートの骨組みを作成する。</p> <p>◇読書課題：大島弥生ほか「文章を組み立てる」『ピアで学ぶ大学生の日本語表現』ひつじ書房，2005，p.41-48.〔816.5/P58〕</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 6 回	5 月 26 日	<p>「情報を探索する方法①：図書館を用いた情報探索」【集合場所：附属図書館の入り口（館内）】</p> <p>◇講義：学習支援機関としての大学図書館</p> <p>◇演習：図書館ツアー</p> <p>キーワード：図書館サービス，参考調査，相互貸借，日本十進分類法</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 G：文献を調査する：図書，雑誌，新聞，参考図書，視聴覚資料</p> <p>◇読書課題：長澤多代「卒業生からの Message」『大阪樟蔭女子大学図書館報 きっかけ』No.1，2007.5，p.6.</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 7 回	6 月 2 日	<p>「情報を評価する方法：情報の取捨選択・読み解き・記録」</p> <p>◇講義：情報を評価する方法</p> <p>◇講義：テキストの読み方，記録の取り方</p> <p>◇演習：情報を評価する方法</p> <p>キーワード：情報の取捨選択，批判的な読み，書誌情報の記録</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 H：議論の展開の仕方について，具体例を考える。</p> <p>◇読書課題：苅谷剛彦「創造的読書で思考力を鍛える」『知的複眼思考法』講談社，2002，p.68-120.〔141.5/Ka67（看護学習ホール，研究室）〕</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>

第 8 回	6 月 9 日	<p>「情報を探索する方法②：ヒト，もの，場所から情報を得る」</p> <p>◇講義：インタビューする方法</p> <p>◇講義：観察する方法</p> <p>キーワード：フィールドワーク，参与観察，半構造化インタビュー</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 I：三重大学内の学習場所を 1 つ選択して観察し，記録する。</p> <p>◇読書課題：佐藤郁哉「インフォーマル・インタビュー」「面接・ヒアリング・聞き取り」「質問リスト」『組織と経営について知るための実践フィールドワーク入門』有斐閣，2002，p.102-116. [361.7/Sa85]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 9 回	6 月 16 日	<p>「レポートを作成する方法」</p> <p>◇講義：全体の構成，段落の構成，論理の展開の仕方，引用の方法</p> <p>◇中間発表</p> <p>キーワード：論理の展開，注，引用，著作権，剽窃（ひょうせつ）</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇グループで発表の準備をする。</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 10 回	6 月 23 日	<p>「発表をする方法」</p> <p>◇講義：発表の種類，発表の準備と方法</p> <p>◇演習：レジユメの作成</p> <p>キーワード：レジユメ，発表の形態，発表の手順，質疑応答，リハーサル</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇読書課題：大島弥生ほか「発表を準備する」『ピアで学ぶ大学生の日本語表現：プロセス重視のレポート作成』ひつじ書房，2005，p.95-99. [377.15/A28]</p> <p>◇グループで発表の準備をする。</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
	6 月 30 日	<p>教員が出張のために，休講です。</p> <p>6 月 22 日及び 6 月 29 日のオフィス・アワーは利用できません。</p> <p>必要があれば，電子メールで連絡をして下さい。</p>

第 11 回	7 月 7 日	<p>「自分の立ち位置を知る：大学教育の仕組み」</p> <p>◇講義：日本の大学の仕組み，大学進学率</p> <p>◇講義：日本の大学における教育改革</p> <p>◇講義：三重大学における教育</p>
		<p>キーワード：教育の質保証，学習成果，単位制度，大学史</p>
		<p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 J：教室外の学習を記録し省察する。</p> <p>◇読書課題：中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて」（答申）第 1 章， 絹川正吉編著「英語でリベラル・アーツ」（一部）『ICU<リベラル・アーツ> のすべて』東信堂，2002，p.10-17. [377.15/Sh 88（研究室図書）]</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 12 回	7 月 14 日	<p>「グループ発表①」</p> <p>◇演習：グループによる発表（発表時間 8 分＋質疑応答 2 分）</p>
		<p>キーワード：主体的な聴き手，他者評価，質問，観点の多様さ</p>
		<p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題 K：本日の発表内容を要約し，「良かった点」「改善すべき点と対策」 を記録し，省察する。</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 13 回	7 月 14 日 18:00-19:30	<p>「グループ発表②」</p> <p>第 12 回と同様</p>
第 14 回	7 月 21 日	<p>「学習活動を評価する方法」</p> <p>◇講義：学習活動を評価する視点と方法</p> <p>◇演習：グループ発表の評価</p> <p>◇演習：レポートの評価</p> <p><レポートの提出期限：2010 年 7 月 21 日 13:00></p>
		<p>キーワード：成果（物）の評価</p>
		<p>教室外の学習</p> <p>◇グループ課題：他のチームから受けたコメントをもとにレポートを見直して， 完成させる。</p> <p>◇学習ポートフォリオを作成する。</p>
第 15 回	7 月 28 日	<p>「全体のまとめ」</p> <p>◇講義：「4 つの力」スタートアップセミナーで学習した内容のまとめ</p> <p>◇演習：学習活動の総括評価</p>
		<p>キーワード：課題探求のプロセス，プロセスの評価</p>
		<p><レポート（完成版）の提出期限：2010 年 7 月 28 日 13:00></p>

◆ 課題の提出期限と提出方法

個人課題およびグループ課題

提出期限：次回の授業時（その他の場合には、事前に連絡をします。）

学習ポートフォリオ

提出期限：次回の授業日の前日である火曜日の午前 10:30

提出方法：共通教育事務室横のポスト（番号 22）、電子メール、FAX、Moodle のいずれか

◆ 成績評価の方法

合格の条件は、合計が 60 点以上になることです(100 点満点)。

- ① 個人課題（教室外における課題 A～J）：30 点（3 点×10 回）
- ② 個人課題（教室外における課題 K）：6 点
- ③ 学習ポートフォリオ（記録，省察）：39 点（3 点×13 回）
- ④ グループ発表のレジュメ：10 点
- ⑤ グループ課題（レポート）：10 点
- ⑥ 学習活動の総括評価：5 点

課題の完成度によって、減点になることもあります。

いずれの課題についても、提出期限を過ぎてから提出した場合には、減点になります。

減点のルールは次のとおりです。

個人課題（3 点→2 点，6 点→4 点）

学習ポートフォリオ（3 点→2 点）

レジュメ（10 点→7 点）

グループ課題（10 点→7 点）

◆ 大学生として必要となる学習時間（「大学設置基準」第 21 条 単位）

本科目では、教室外の学習として 60 時間の準備学習及び復習が必要になります。

根拠は次のとおりです。

- ◇ 本科目の単位を取得するのに必要な学習時間の総量：90 時間
 = 単位制度によって定められた 1 単位の習得に必要な学習時間(45 時間)
 × 2 単位(本科目の単位数)
- ◇ 教室内における学習時間：30 時間 = 2 時間(90 分)×15 回
- ◇ 教室外に必要な学習時間：60 時間
 = 90 時間(教室内外の学習時間) - 30 時間(教室内の学習時間)

<<シラバスは学習の手引です。毎回の授業に必ずもってきてください。>>